

北陸風景街道

道の向こうに、出会いがある。道を通って、歴史や文化が運ばれてくる。道に描かれる、風景がある。点と点を結ぶラインを通過するのではなく、色とりどりの集落を巡るルートとしての「みち」へ。北陸ならではのシーンに満ちた風景街道を、のんびりマイペースで巡ってみませんか。



あつみ温泉

新川流れ



瀬波温泉



日本海パークライン

北陸-第1号・東北-第14号

～日本海が育む自然・歴史・文化 車を停めて“くつろぐ”潮風薫る道～

瀬波温泉・あつみ温泉・笹川流れ

日本海パークラインは多くのパートナーシップに支えられています。

瀬波・湯海温泉・笹川流れ観光開発協議会、あつみ観光協会、村上市観光協会、村上商工会議所、瀬波温泉旅館協同組合、岩船商工業会、瀬波温泉連絡協議会、北越後村上門前谷「葉膳」ツーリズム、NPO 法人都岐沙羅パートナーズセンター、笹川流れ民宿組合、村上市、鶴岡市、新潟県村上地域振興局、国土交通省新潟国道事務所、国土交通省羽越河川国道事務所、国土交通省酒田河川国道事務所



みちづくりパートナーシップ「日本海パークライン」

〒958-0037 新潟県村上市瀬波温泉2丁目7番24号

TEL.0254-52-2656 (瀬波温泉旅館協同組合内)

<http://www.nihonkai-parkline.com/>

北陸 風景街道協議会

<http://www.hrr.mlit.go.jp/road/fukeikaidou/hokuriku-fukeikaidou.jp/>

平成22年3月作成 ※このパンフレットは「平成23年度 地方の元気再生事業」によって印刷されています。



岬の向こうに、わくわくする風景が広がる 名勝・笹川流れに沿って北上する潮風ルート

城下町の面影を残す村上の町屋 歴史と伝統文化にふれる街歩き

日本海パークラインは、新潟県の北部に位置する村上市から山形県鶴岡市温海地区にいたる、総延長50kmの道のり。日本海ぎっけの景勝地・笹川流れに沿って走る国道345号を中心に、厳しい自然環境に育まれた独自の文化を持つ、個性豊かな集落が点在している。この潮風薫る小旅行の出発地は、武家屋敷、町屋、寺町、城（跡）という城下町としての四大要素が残る、歴史と伝統文化の町・村上。中でも町屋は多くの店舗が一般公開されており、当時の生活や文化をしのぶことができる。残念ながら、京都のように外観からそれと分かる町屋は少なく、近代化された建物が多いものの、一歩店の奥に進むとイロリや壁、大黒柱に神棚、仏壇、そして豪快な吹き抜けの造りが現われ、江戸や明治にタイムスリップするような錯覚を覚える。



村上市中心部の町屋通り。ほとんどの店舗が一般公開しており、歴史を感じながらたまたまを堪能することができる。

地元の商店街を中心に結成された「村上市屋商人会」では、町屋造りを公開している店舗をガイドマップに収録しているの、それを片手にぜひ訪れてみたい。村上中心部を後にして、海沿いの観光名所である瀬波温泉へ。明治37年に石油掘削中に熱湯が噴出したのが温泉の始まりで、豊富な湯量と温度（95度前後）の熱さが特徴。ほとんどの旅館、ホテルがオーシャンビューの造りとなっており、鯛の鍋・栗島を眼前に、清澄な日本海と緑豊かな松林の続く海岸を眺められる。白砂青松の言葉がびつたりの海水浴場は、旅館やホテルから水着姿のままで行ける近さ。新潟の長い海岸線の中でも屈指の透明度を誇り、県内外から多くの人を呼び寄せる。



透明度の高い海と大迫力の奇岩 観光遊覧船から笹川流れを満喫

この瀬波温泉から山形県へ向かう国道345号は、いわゆる「笹川流れ」沿いの観光道路として有名。その瀬波の流れの速さから命名されたという笹川流れは、荒波の浸食によって造り出された奇岩・断崖の連続するワインディングロード。右手にのどかな田園風景や切り立った岩、左手に雄大な日本海という絶妙な景色を眺めながら、ゆったりと北上していく。

途中、サケの遡上で有名な三面川を渡る。江戸時代、すでにサケの回帰本能を発見した村上市は、世界で初めてのサケの人工化に着手。母なる川にサケを遡上させるべく、さまざまな工夫をこらしている。とくに河口部の防風林は、サケをはじめとする魚介類のエサとなる、虫やプランクトンの産成を目的として保護された。食物連鎖の法則をしっかりと守る、エコロジーな視点には驚かされる。いくつかの岬やトンネルを越えると、笹川流れ観光遊覧船の発着する桑川港が見えてくる。船底に透明のガラスを貼った遊覧船は、豊かな海に泳ぐさまざまな魚たちを身近に感じられる人気アトラクション。断崖すれすれに進む船から、迫力のある奇岩の数々を眺めるのは不思議な体験だ。船に群がってくるウミネコたちは、観光客の投げた餌を上手にキャッチする。船着き場には獲れたての魚を焼いた浜焼きなどのお土産がそろい、ここで小腹を満たしておくのも悪くない。



「漁の駅」笹川流れの崖上にある展望台。サンセットブリッジと呼ばれ、美しい夕日に沈む光景を楽しむことができる。



遊覧船に集まってくるカメメウミネコは人気。船中にお菓子を投げると上手にキャッチする。

近くには笹川流れの海水を使用した手作りの塩を売っているカフェや、遠く栗島を見渡せる展望台のある施設など、さまざまなスポットが点在。美しい日本海の恵みを五感で体験しよう。

北陸から東北への旅路 クルマを停めて夕日を眺める

さらに北上すると、海岸線は次第に変化を見せ始める。奇岩、断崖のところどころにのぞいていた砂浜はすっかり姿をひそめ、ゴツゴツとした岩礁地帯が続くようになると、新潟と山形の県境はすぐそこ。風ヶ岡の駅を通過すれば、ほどなくして開港1千年の歴史をもつあつみ温泉に到着する。湯量は毎分1000リットル以上と豊富で、浴用としての効果は火傷・神経痛・湿疹など、昔から女性の肌にもよく評判。飲んでは肌行などの胃腸に良いといわれ、今も多くの湯治客でにぎわいを見せる。温海岳の山麓に抱かれ、清流温海川沿いの静かな環境の中にある温泉街には、古くから文人墨客が多く訪れ、歌碑なども多く残る。桜の咲き誇る春、燃えるような紅葉の秋、情緒あふれる雪景色の冬と、四季折々の彩りに包まれ、新鮮な海・山の幸を心ゆくまで味わうことができる。

ここまで一気に走破して、およそ2~3時間の道のり。自分の気に入った風景と出会えたら、そででのんびり過ごすのもいい。夕方には日本海に落ちる夕日が素晴らしい。エリア内には夕日スポットが数多く点在。クルマを停めて、しばし幻想的なひとときを身をゆだねてもらいたい。



笹川流れの海水で作ったミネラル豊富な湯量が評判。この湯と山北岸コンシカリを使ったおにぎりや、吉祥品の湯水でいれたコーヒーマー、笹川流れでとれたサカナなどが味わえる。



1000年の歴史を誇るあつみ温泉。古くから文人墨客も多く訪れ、松尾芭蕉、与謝野晶子、横光利一等、小説、詩歌に数多くうたわれている。

日本海パークライン



日本海パークラインは新潟県村上市～山形県鶴岡市のあつみ温泉までのエリア。中心となる道路は一般国道7号・345号。瀬波1号線で、約50kmほどの道のり。